

魔法少女

# アイドル

第一章『西條エリナ』

正義のヒロインを

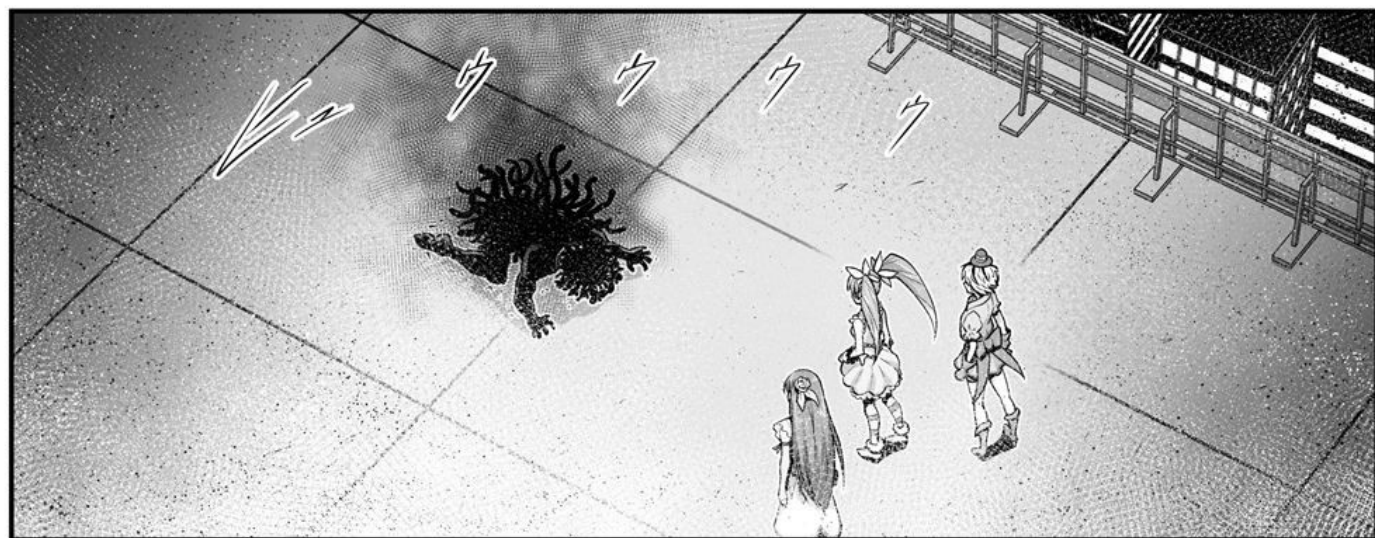
なか  
脳から  
しはい  
侵食する

白黒漫画 本編 58P

——ある日突然  
人の心が  
世界に干渉する

人の負の感情からは  
闇の魔物が生まれ  
人々を襲い

逆に強い光の心を持つ  
限られた少女には  
闇を払う正義の力が  
与えられた



ハシ  
ツイン  
!!













聖なる心の  
輝きよ……

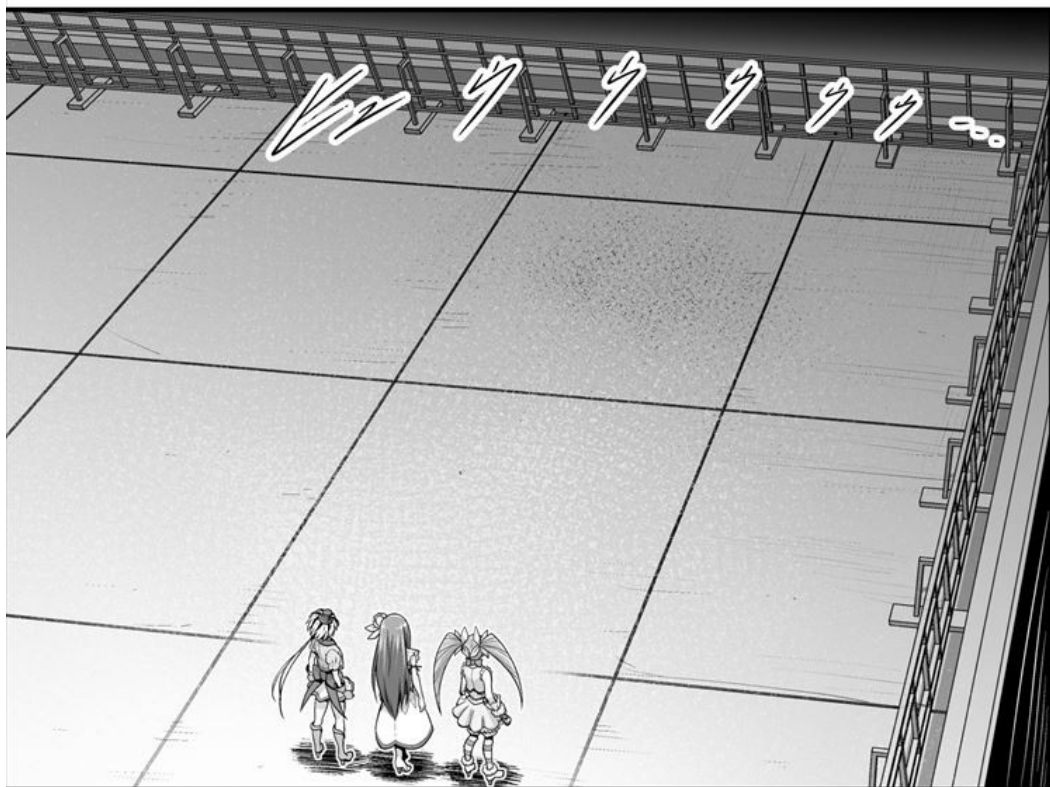
邪悪なる闇を  
打ち払え……!











とりあえず今は  
勝利を喜び  
ましよう

そうだね

みんな  
アイヌ買って  
帰ろ！



……あれ？  
さっきの傷跡が  
どこにもない？

痛みはあった  
のに……  
気のせい  
かしら？



エリナ早く  
行こうよー

ええ  
今行くわ





==第一章==

{西條エリナ}









——私が  
シャイン  
ハーツに  
なってから

もう半年が  
経つ



半年前  
闇の魔物に  
襲われていた  
子供を見て  
助けたいと  
強く願った  
心の光により  
私は変身し

その後同じ時期に  
シャインハーツに  
変身した  
アサヒ・ユウとも  
出会った



きっと私は世界を守る為に  
選ばれたのだと思った



エリナよ

全国模試で  
6位とは何事だ









|                                                                         |                                                                  |                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| <p>だからそんな小さな闇の力で私の身体を奪うのは無理でしょうし</p> <p>シャインハーツの肉体は変身前から光の力に守られているの</p> | <p>最初は闇の力が小さすぎて気づけなかったけど</p> <p>最近はあるあなたの力が回復したからか違和感を感じていたわ</p> | <p>やはりあなただったのねダーゲル</p> <p>あの時私の腕に身体の一部を寄生させたのでしょうか？</p> |
|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|

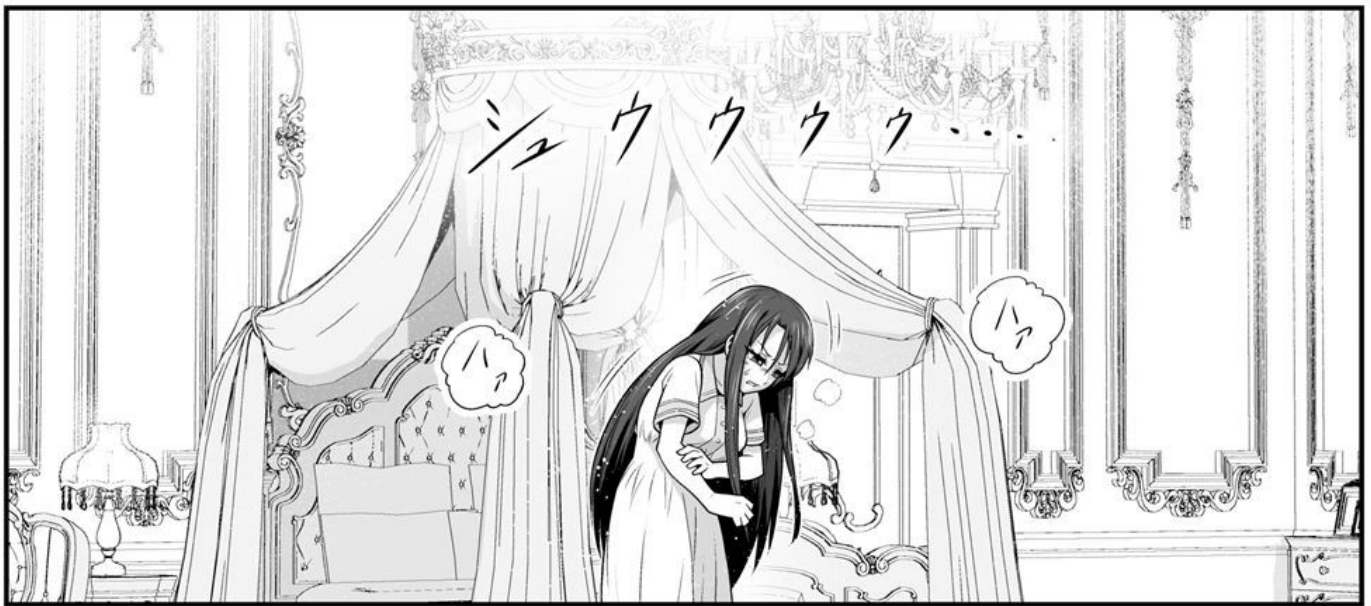




変身前でも  
力を一点に集中  
させれば

あなたを  
倒せるのよ

こうやって  
ね！



さっきは  
ダーゲルの闇の力を  
ハッキリと  
感じ取れたから  
対処できたけど……

ハ？  
危ない  
所だったわ……

とりあえずユウと  
アサヒに連絡を……



ま  
まさか  
身体を  
分裂させて  
囀に――



ククッ  
かかった  
な……



お前が光の力を  
左手に  
集中させた事で  
脳が一時的に  
無防備になった！

あつあつ……あつ頭の中つ  
ぐつ……グチャグチャにつ  
されつ……ああつ……  
あつあつああつあつ……！！

あがっ



俺は待っていた！  
少しずつ細胞と  
闇の力を回復  
させながら……

この  
チャンスを！！











その  
結果が  
これだ!!

お前は  
無様に  
俺に身体を  
乗っ取られ

こうして凌辱  
されている!!  
身体も!  
心も全てな!!

お前  
ググッ

ググッ  
ズボッ

ググッ

はぁ  
あ

どうだ男のチ○ポは!!  
媚薬を分泌してるから  
処女でも感じるだろ!?

ズグッ

さっ…さっきまで  
痛くて堪らな  
かったのにっ…

ズグッ

なっ…なんで…  
こんなっ…気持ち  
よくっ…なって…

あ

ほらっ

ググッ

ズボッ

中出しされて  
イッてしまえ!

あああ  
いつ意識  
がっ…

ズグッ

とっ…  
飛んじやううっ

ズボッ









……あれ？

いつの間に  
寝ていたの  
かしら……

……何か  
忘れている  
ような……

ん？

下半身に  
違和感が……



え？

ジュルル……

なっ

どうして

触手が

ここに……!!?



触手はこうして  
ちゃんとオマ○コの中に  
入れておかないと

んふっ

はっあ

外に出して  
おくなんて  
考えられない  
わ……！



私は完璧な人間に……  
『完璧な女』にならないければ  
いけない

グググ

その為に  
『この触手に沢山犯されて  
女を磨いていく』の……

ズグ

私は

完璧な女に  
なるのよ……！

グググ

オッ

んっ

——よし  
完璧な英訳だ

Who will stand above  
others in the future  
So don't lose  
to anyone.  
You have to  
become a perfect  
person.

ククッ













エリナ先輩って本当に  
凄いですよね……！

生徒会の  
誰よりも仕事が早くて  
指示も的確ですし  
私憧れちゃいます！

あ……  
ありがとう  
水原さん  
……

ん……

く……

でも……んっ……  
私だって……

大人と比べたら  
まだまだ……

そう 私は……  
もっと完璧に  
ならないと……

ググググ

ググググ

こ……  
この  
気配は  
……！

ごめんなさい  
体調不良で  
早退するわ

えっ  
エリナ  
先輩？

闇の魔物が  
現れるの  
久しぶり  
だね

力はそんなに  
大きくないけど

とにかく早く変身して  
向かいましょう







だから平和を  
脅かす闇の魔物は  
必ず倒す！

シャインフローズン  
輝光凍結！！

それが私の目指す  
完璧な正義よ！





シャインフラッシュ  
輝光閃!!

キラッ



ふう……  
間に合った

大丈夫  
エリナ!?



え ええ……  
ごめんなさい  
油断して  
しまつて

わ 私……  
さっきは一体  
何を考えて……

闇の魔物も  
倒せたし  
無事で良かったよ

チツ……



もっとしつかり  
しないと……

私は  
完璧な人間に  
なるのだから

完璧な人間に……

え……?









——最近なんだか  
触手への抵抗感が  
なくなってきた

そうよね…  
私が今  
している事は  
完璧な女に  
なる為に  
必要な事……



だからもつと触手に  
体中を犯してもらって  
淫らな女にならないと

触手チ○ポと  
快楽の事だけ  
考えるような  
卑猥な雌に……

ああ……私……  
水泳の授業中に  
オナニーしてる  
……！

もし……  
もし誰かに  
見られたら  
……！

じゃあ残りは  
自由時間よ

わあ  
あ

















——いつしか私は  
下着なしで生活する  
ようになった……

授業中も食事中も  
ずっと隠れて  
オナニーして……

ばれそうになるたび  
凄く興奮しながら……



……ああ……  
そして今も  
ずっと……

だっさ  
あはは  
何それ？

ずっと……  
二人の親友の  
後ろでオナニー  
してる……っ



もし  
今二人が  
後ろを  
振り返っ  
たら……

ああっ  
私っ……  
私……  
……!!

——ねえ  
エリナは  
どう  
思う？











んはあああつ！  
気持ちいいっ！！

触手チ○ポ良いのっ！  
美味しいのおっ…！！

ジュレ  
ロロッ

ジュグジュ

ズボン  
ポッ

んふ  
うふ



触手チ○ポ  
様あつ…！！

…んばい…



エリナのおマ○コを  
グチヨグチヨに  
犯して下さいっ！！

パロ  
パロッ



私はもうっ  
触手チ○ポがないと  
生きていけないっ！！

ズボン  
ポッ

ズボン  
ポッ



エリナ先輩？

ごめんなさい  
ボーッとしてて  
そそれで私に  
相談って…？

実は  
これなん  
ですが…

ゴン…





その子は  
冗談で持って  
きたとか言って  
ましたが…



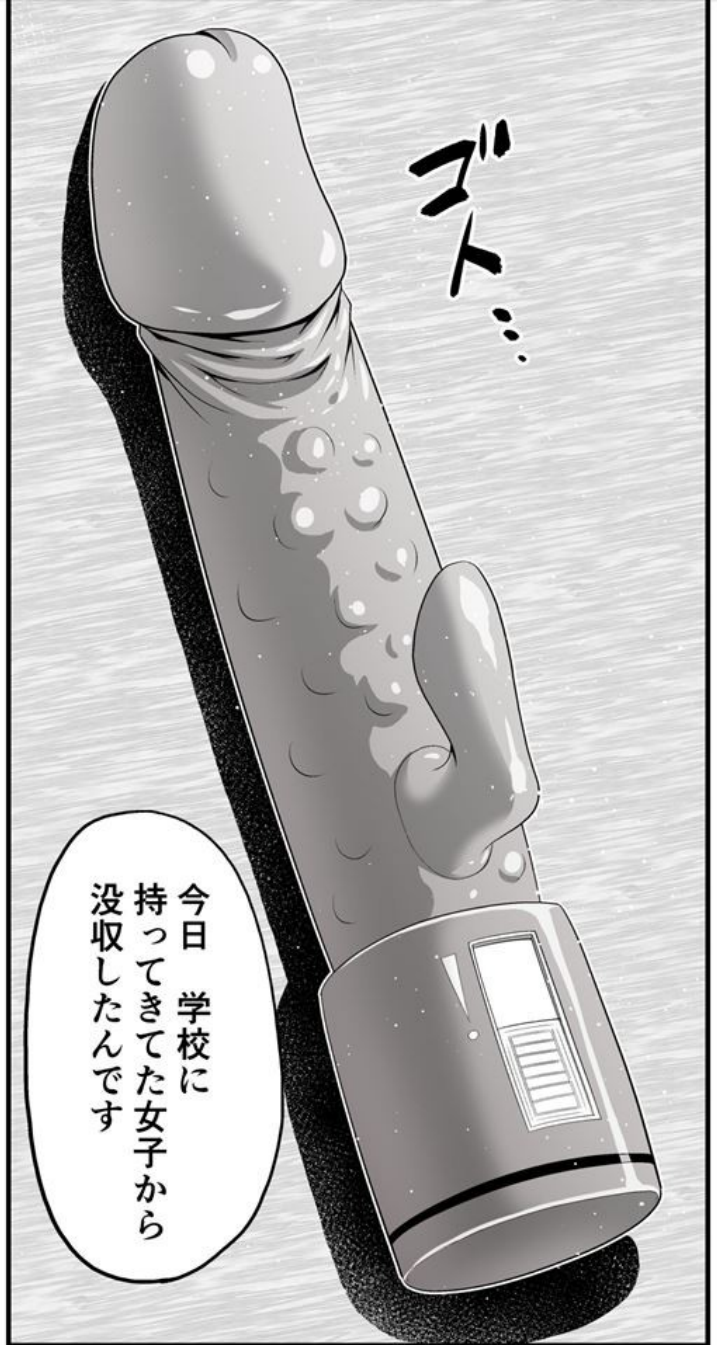
私 本当に  
許せなくて！

神聖な学び舎を  
何だと思っ  
てるんだって…!!



でも もしこれを  
先生に見せたら  
あの子が処罰される  
のではないかと  
思っ…

それで どうするべきか  
先輩に相談しよう  
と



今日 学校に  
持ってきた女子から  
没収したんです



はい ありがとう  
ございました!!  
エリナ先輩に  
相談して本当に  
良かったです!



……これは  
私が本人に  
返しておくわ

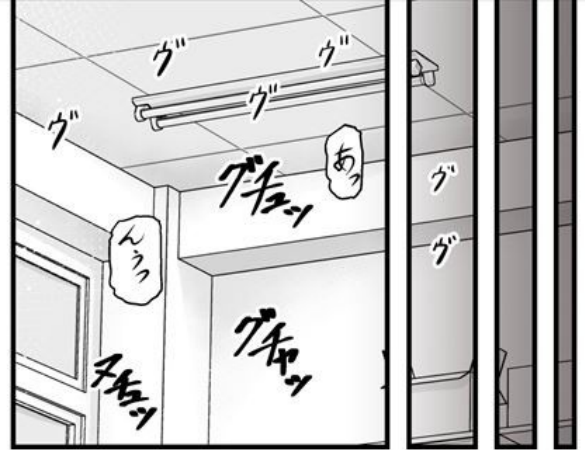
私は片付けが  
残っているから  
先に帰りなさい



……わ  
分かった  
わ……  
後日私が  
本人と話して  
しっかりと  
反省させるわ

すいません  
エリナ先輩の手を  
煩わせてしまって!

























それに…



今もこうして一人で  
会いに来ているし

何故か闇の魔物の  
場所が正確に分かり



ああ……  
でも……  
闇の魔物を……  
あの触手を……  
見てると……



……あれ？  
なんで私は  
こんな事を……

ユウとアサヒに  
感知されないように  
バリアまで貼ってるし



私はあ……！

触手チ○ポを  
見てると  
私は……

ああ……  
触手チ○ポが  
私の中に……！

……い  
いや……

私……

……このまま  
じゃ……



んはあ ああ ああ  
っ ああ ああ っ!!



あ あ っ 私 い っ!  
正義の味方  
なの に い っ!

ズッ

やみのまもの  
人類の敵の触手チ○ポにっ  
オマ○コ突かれてるうっ!!

ほあッ



んはあ っ 気持ち  
いい っ!!

触手チ○ポ  
最高 おおお  
おお っ っ!!

あッ

んほッ



ああ ああ っ!!  
も っ と お っ!!  
も っ と 突い て  
く ら は い っ  
触手チ○ポ様  
ああ あ っ!!

んほッ

ズッ

ズッ

ああ あ っ 私 っ  
敵に媚びてるっ...!!  
雌豚みたいな敵に  
触手チ○ポねだってるっ!!

あッ

ああ あ っ!

なんて っ

.....

なんて興奮する  
の お お っ.....!!

あッ













シャイン  
チェンジ!!  
私の身体を凌辱し  
水原さんまで…!!



NO!!



絶対に許さないわ  
ダーゲル!!

私の身体から  
完全に出たのは  
失敗だった  
わね!

もう私を  
操るのは  
不可能よ!!



クク……  
もうその  
必要はない

やる事はもう  
全て済ませた



全て済ませ  
た……?

どうした?  
かかって  
こないのか?

っ!行くわよ  
ダーゲル!!

シャインステッキ  
輝光魔杖!

この男だけは  
絶対に許さない!!  
世界の為にも……!  
私自身の為にも……!!

必ずこの男  
を……!!

シャインパージ  
輝光脱衣!!







なあエリナ  
お前にとって  
『完璧な女』  
とは何だ？

『男に  
性奉仕する  
淫らな雌豚』  
の事よ!!

俺にとって  
お前は何だ？

『肉便器』よ!!

何故さっきから  
当り前の事を  
聞いてくるの？

入れて  
くらない

俺のチ○ポを  
入れたらお前は  
どうなる？

脳をあなたに改造された為  
普段の数十倍の快楽を感じて  
死ぬ程の絶頂を味わうから  
私の雑魚マ○コなんてすぐに  
屈服するに決まってるわ!!

入れて  
くらない

クハハハッ  
完全に『成功』だ  
では入れるぞ  
雌豚エリナ!

ああっ……ついに  
ダーゲルのチ○ポが……!

私は絶対に  
負けない……!

必ずダーゲルを倒し  
世界の平和を……!





ふ…ふわふわで…  
気持ひ…よくへ…  
…へああ…あ…

…ああ…あ…  
…にや…にやに…  
い…いまの…？  
あ…アタマのナカ  
…まっシロに…  
…なっへ…



…だっダメっ…  
せ…正義がっ…  
あっ悪にっ…  
屈して…はっ…！

クク…中々  
耐えるな



はああああつ！！  
チ○ポ突かれて  
アタマに電撃  
走るうっ！！

きっ気持ひいいっ！！  
気持ひいいいいっ…！！





だが  
これは  
どうだ？

んほおおおおつ  
つおおおおつ!!

ああつア○ルにもお  
おおおおおつ!!



まだ耐え  
られる  
か？

ムリいつ!!  
ムリれすう  
ううつ!!

オマ○コとア○ルつ  
同時にイキすぎてつ  
死んじゃうほどつ  
きもひいいろおつ!!



気持ちいいか  
エリナ？

んはああつ!!  
気持ちいい!!  
きもひいいの  
おおおつ!!

俺がお前の身体を  
変えたおかげで  
この快楽を  
得られるのだ

だつ……  
ダーゲルがつ  
私の身体を  
変えたつ……  
おかげつ……!

何か俺に  
言う事は  
ないか？

あああ  
あああ  
つ……!

あああ

チ○ポ  
しゅごい  
いいいつ!!  
最高のお  
おおつ!!

ズン



ありがとうござい  
ましゅうううっ!!

ククッ  
まさか礼を  
言うのか?

俺はお前の身体を  
無理やり改造  
したんだぞ?

んあ あっだつてえっ  
こんな気持ちいい  
から ああ あっ……!!

ズボッ

ズボッ

ズボッ

そうっ…そうだったのおっ!  
これまで色々されたけどっ!

本当は全部  
気持ちよかったのおおっ!

ククッそうだ……  
お前が気持ち良いのは  
全て俺のおかげだ…  
奴隷のように俺を崇め  
感謝しろ雌豚

クハハハッここまで  
俺の言いなりとは  
お前は最低の  
雌豚奴隷だな!

はあ ああっ!!  
そうれすっ!!

エリナは最低の  
雌豚奴隷れすうっ!!

ありがとうございまふ  
ダーゲルひやまああっ!!

んおおおっ!!  
エリナを気持ちよく  
していただきいっ!!



ご主人様のチ○ポの  
為なら何でもする  
最低の『雌豚奴隷』

……それこそが  
お前の目指す  
『完璧な女』だ

わっ わたしの目指す  
完璧な女はっ……!!

ご主人様の  
雌豚奴隷  
いいっ!!

雌豚奴隷だった  
のおっ……!!

ユウと  
アサヒを  
裏切る  
ならな

ユウとアサヒ……  
シャインハーツ  
として共に  
過ごしてきた  
大切な親友……

そんな  
親友達を  
裏切る  
なんて  
……

忠誠を誓うなら  
その触手チ○ポに  
口奉仕しろ



できるに決まっ  
ています…♡



クク…まさか  
裏切るのか？  
大切な親友を

あはあつ  
もひろん  
裏切り  
まふうっ♡



ご主人様の雌奴隷がつ♡  
私のなりたい『完璧な女』  
れすからあつ…♡

クハハッ成る程…  
今のお前にとって  
他の事はもうどうでも  
いいんだな



そろそろ臍内に  
出してやろう

はあああつ♡  
出ひてくら  
はいいっ♡

ご主人しゃまの  
ザイメンっ♡  
エリナの雌豚  
マ○コにいっ♡

んはああつ  
ご主人ひやまつ  
えっエリナはっ  
もうっっ…♡

イッてしまえ  
雌豚奴隷エリナ!!









クク……『完璧な自分』に  
生まれ変わった気分はどうだ？  
シャインハーツ……いや

『ダークハーツ』  
エレナよ……

はい……♡  
ご主人様の  
雌奴隷としての  
悦びと幸福が  
全てを満たし……

またすぐに  
イッてしまい  
そうです……♡

改めて私……  
ダークハーツ  
エレナは……

ご主人様の  
忠実な  
雌奴隷として  
永遠の忠誠を  
誓います……♡

こうして  
私は

完璧な女  
雌奴隷に  
生まれ  
変わった  
……♡







雌豚奴隷  
エリナ:

んじゅっ  
はぁっ♡

フチュ♡

んじゅっ  
はぁっ♡

はいい♡  
もちろんでふ♡

んじゅっ  
はぁっ♡

アサヒ  
親友を♡

ご主人様に  
捧げます♡



第二章へ  
続く...



# ～～あ と が き～～

どうも、サークル『エクリプス』のコーアンです。

この度は『魔法少女シャインハーツ第一章 ～西條エリナ～』  
をお買い上げいただきありがとうございます。

漫画作品としては完全版を除くと  
前作『星アソビ2』から3年程経っています。  
本当に時の流れは早いですね……。

今回は初のオリジナル作品です。  
原作の力を借りず、全て自分だけの力で作った作品が  
どれだけの支持を得られるのか、  
楽しみであり不安でもあります。

久々の漫画作品だった事もあり  
途中でかなり加筆修正を加え  
相当時間がかかってしまいましたが、  
作品のクオリティが上がっていくのが感じられ  
自身の成長を実感する事もできました。  
次回作は更に良い物にできればと思っています。

次回作である第二章では『藤間アサヒ』が  
ダーゲルの雌奴隷に墮とされます。  
今の所は全三章の予定です。

シャインハーツ達の行く末はどうなるのか……？  
このまま物語の最後までお付き合いいただければ幸いです。

それでは次回作もよろしくお願いします。

2024年10月6日 コーアン

pixiv→<https://www.pixiv.net/users/56162663>

ニジエ→<https://nijie.info/members.php?id=158345>

Ci-en→<https://ci-en.dlsite.com/creator/7151>

連絡先: isyuuki@icloud.com